

## 非破壊試験技術講習会開催案内

(2025年4月:超音波探傷試験レベル2コース PART-A/レベル3コース、漏れ試験レベル1, 2コース)

－ JIS Z 2305:2013に基づいた訓練 －

主催 一般社団法人 日本非破壊検査協会

The Japanese Society for Non-Destructive Inspection

<http://www.jsndi.jp/>

当協会では、JIS Z 2305:2013「非破壊試験－技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施致しております。JIS Z 2305:2013では受験申請資格として各NDT方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録が必要となります。

本講習会開催案内は、4月に先行して開催される超音波探傷試験レベル2コース PART-A及び超音波探傷試験レベル3コース、漏れ試験レベル1, 2コースのみのご案内となります（その他の講習会に関しましては、例年通り6月～7月に開催されます）。

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行し、講習会最終日に手渡し致します。

以下のURLよりお申し込み下さい。お申込みはインターネットのみで受付しております。

<http://www.jsndi.jp/education/class/>

※講習会をお申し込みの方は、必要書籍がございますのでご確認下さい。

超音波・漏れ関連書籍 使用書籍：○ 参考書籍：△（消費税込価格）

| 書籍名   |  | 年版   | 書籍略称             | 書籍コード  | 定価     | 会員価格   | UT<br>レベル2<br>PART-A | UT<br>レベル3 | LT<br>レベル1 | LT<br>レベル2 |   |
|-------|--|------|------------------|--------|--------|--------|----------------------|------------|------------|------------|---|
| 超音波関係 | 超音波探傷試験 I                                | 2017 | 超 I              | 320117 | 2,530  | 2,277  | △                    |            |            |            |   |
|       | 超音波探傷試験 II                               | 2019 | 超 II             | 320129 | 4,620  | 4,158  | ○                    |            |            |            |   |
|       | 超音波探傷試験 III                              | 2017 | 超 III            | 320137 | 8,360  | 7,524  |                      | ○          |            |            |   |
|       | 超音波厚さ測定 I                                | 2021 | 超厚 I             | 320111 | 2,860  | 2,574  | △                    |            |            |            |   |
|       | 超音波探傷試験 II 問題集                           | 2019 | 超 II 問           | 320229 | 4,180  | 3,762  | ○                    |            |            |            |   |
|       | 超音波探傷試験 III 問題集                          | 2019 | 超 III 問          | 320239 | 3,740  | 3,366  |                      | ○          |            |            |   |
|       | 各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験                      | 2004 | 各 超              | 321570 | 6,076  | 5,552  | ○                    | ○          |            |            |   |
|       | 超音波探傷入門（パソコンによる実技演習）<br>DL版「デジタル超音波探傷器」編 | 2013 | 超入デ              | 321563 | 5,238  | 4,714  | △                    |            |            |            |   |
| 漏れ関係  | 漏れ試験 I                                   | 2012 | 漏 I              | 381111 | 2,571  | 2,366  |                      |            | ○          |            |   |
|       | 漏れ試験 I 問題集                               | 2012 | 漏 I 問            | 381212 | 1,440  | 1,338  |                      |            | ○          |            |   |
|       | 漏れ試験 II                                  | 2012 | 漏 II             | 381122 | 3,703  | 3,394  |                      |            |            | ○          |   |
|       | 漏れ試験 II 問題集                              | 2013 | 漏 II 問           | 381223 | 2,160  | 1,954  |                      |            |            | ○          |   |
|       | 漏れ試験実技参考書                                | 2012 | 漏 実              | 381302 | 2,366  | 2,160  |                      |            | ○          | ○          |   |
| 他     | JIS Z 2305 :2013 非破壊試験技術者の資格及び認証         | 2013 | 日本規格協会にてお買い求め下さい |        |        |        |                      | △          |            | △          | △ |
|       | 詳解 非破壊検査ガイドブック 第2版                       | 2018 | 非 ガ              | 600562 | 4,620  | 4,158  |                      | △          |            |            |   |
|       | JISハンドブック「非破壊検査」2024                     | 2024 | 非 ハ              | 600024 | 21,560 | 19,404 | △                    | △          |            |            |   |

## 非破壊試験講習会申し込みにおける**注意事項**

### 1) 申込受付

WEBシステム上の申込欄に必要な事項を入力の上、お申込み下さい。電話・FAX等での受付及び予約は、一切いたしておりません。受講申込み受付は、申込確定メールをもって正式受付とします。正式受付後の受講取り消しは、一切できませんので申し込みの際には、十分ご注意ください。

### 2) 締め切り

申し込みの締め切りは各講習会開催の1週間前までです。定員に達し次第、募集を締め切ります。

(定員に余裕がある場合は、その限りではありませんのでTEL：03-5609-4013までお問合せ下さい。)

受講希望者が10名未満の場合は、やむを得ず中止にすることがありますので、ご了承ください。

### 3) 受講票の発送

申込受領後、各種講習会開催日の2週間前までに受講票・講習会会場地図・受講料振込用紙を発送します。

なお、受講者数が最少開催人数を満たさず開催を検討している場合や募集開始から講習会開催の日程が短いものに関しましては、発送が遅れる場合がございます。

講習会開催日の3日前になっても受講票が届かない場合は、TEL：03-5609-4013までお問合せ下さい。

### 4) 受講料

受講料振込用紙が到着次第、指定期日までに受講料の送金をお願い致します。

受講料は正式受付をもって全額納入の義務を生じます。講習会の出欠にかかわらずに振込を完了されませんと、以後講習会への申込はできなくなりますので、受講申込の際には、充分にご注意下さい。

振込の領収書は発行致しません。なお、請求書は受講申込書単位での請求になりますので、複数の申込の場合でも一括での振込はご遠慮下さい。

### 5) 講習会使用書籍

講習会当日の書籍の販売は致しません。必要書籍は必ず事前にご購入ください。

講習会（JSNDI主催）受講者は書籍が会員価格となります。（ただし、会員価格の適用は講習会開催期間中のみとなりますのでご了承下さい。）

また、書籍の発送は申込順ではなく、講習会の日程に合わせて発送しております。講習会開催日の1週間前になっても届かない場合は、TEL：03-5609-4012までお問合せ下さい。

### 6) JIS Z 2305訓練実施記録

当協会開催講習会のうち非破壊試験技術講習会及び実技講習会に関しては、受講終了後に「訓練実施記録」を発行し講習会最終日に手渡し致します。

「訓練実施記録」は、レベル1、2、3の受験申請の際に、コピーに署名・押印したものを添付することになっております。

原本は各自で大切に保管して下さい。再発行は、有料（3,300円税込）となりますので、紛失しないようご注意ください。

### 7) 受講料の会員価格

当協会の会員の皆様にはサービスの一環として、受講料の会員価格を設けさせていただいております。行事参加券をお持ちの方は会員価格にて受付いたしますので、申込の際にご入力ください。行事参加券の添付のない場合には、非会員価格になりますのでご注意ください。会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております（会員証に氏名が記載されている本人）。「非破壊試験技術者資格証明書」に記載されている個人登録番号ではございませんのでご注意ください。

### 8) キャリア形成促進助成金制度

キャリア形成促進助成金制度では、大企業、中小企業ごとに、事業外の教育訓練施設へ派遣した場合、助成金の給付を受ける事ができます。詳細は、以下のURLをご参照の上、最寄りの都道府県労働局へお問合せ下さい。

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/dl/d01-1-3.pdf](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/dl/d01-1-3.pdf)

超音波探傷試験レベル2は、「PART-A」と「PART-B」という2コースの講習会を実施いたします。  
2コースを受けていただくことにより、訓練内容別必要訓練時間を満たします。  
(80時間：ただしレベル1の要求訓練時間を満たしている場合)

UTレベル2コース PART-A 会員 61,479円 非会員 68,310円 (消費税込)

| 講習会名                      | 地区         | 定員  | 期日                    | 時間         |
|---------------------------|------------|-----|-----------------------|------------|
| 超音波探傷試験レベル2<br>(講義5日間コース) | 東京<br>(亀戸) | 30名 | 講義<br>4月5日(土)~9日(水)   | 9:00~17:45 |
|                           | 大阪<br>(堺筋) | 30名 | 講義<br>4月12日(土)~16日(水) |            |

※ 講義のみのコースです。

| 訓練内容                          | 訓練内容題目                            | 訓練時間(h) |    | 合計訓練時間 |
|-------------------------------|-----------------------------------|---------|----|--------|
|                               |                                   | 講義      | 実習 |        |
| 序論                            | NDTの目的、用語                         | 4       |    | 40時間   |
|                               | 超音波探傷試験に関する規格                     |         |    |        |
| 超音波の伝搬と音場,<br>きずによる超音波の<br>反射 | 超音波に関する基礎                         | 7       |    |        |
|                               | 波の種類                              |         |    |        |
|                               | 反射、通過と屈折                          |         |    |        |
|                               | 超音波ビームの特性                         |         |    |        |
| 製品知識と探傷技術                     | きずによる超音波の反射                       | 5       |    |        |
|                               | 超音波探傷方法                           |         |    |        |
|                               | 製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず<br>対象となる適用品 |         |    |        |
| 装置                            | 各種探触子とケーブル                        | 7       |    |        |
|                               | 探傷器                               |         |    |        |
|                               | 接触媒質                              |         |    |        |
|                               | 標準試験片及び対比試験片                      |         |    |        |
| 探傷準備                          | 仕様書, NDT手順書及びNDT指示書               | 5       |    |        |
|                               | 試験体のきずの発生予測                       |         |    |        |
|                               | 探傷条件選定                            |         |    |        |
|                               | 適用される検査規格                         |         |    |        |
| 検査                            | 探傷器の調整                            | 5       |    |        |
|                               | 標準試験片と対比試験片                       |         |    |        |
|                               | 直接接触法(垂直及び斜角)                     |         |    |        |
|                               | 水浸法(垂直)                           |         |    |        |
|                               | 測定範囲の調整及び感度の調整                    |         |    |        |
|                               | きずの検出と測定                          |         |    |        |
| 評価及び報告                        | きずの評価・分類                          | 5       |    |        |
|                               | きずと疑似指示の区別                        |         |    |        |
|                               | 超音波指示の解釈と評価                       |         |    |        |
| 検査の品質                         | 技術者の資格                            | 2       |    |        |
|                               | 機器の検証                             |         |    |        |
| 計                             |                                   | 40      | 0  |        |

UTレベル3コース 会員 65,340円 非会員 72,600円 (消費税込)

| 講習会名                            | 地区         | 定員  | 期日            |                 | 時間         |
|---------------------------------|------------|-----|---------------|-----------------|------------|
| 注)<br>超音波探傷試験レベル3<br>(講義4日間コース) | 東京<br>(亀戸) | 30名 | 講義            | 4月19日(土)~22日(火) | 9:00~17:45 |
|                                 | 大阪<br>(堺筋) | —   | 開催なし(10月開催予定) |                 |            |

超音波探傷試験レベル3コースは、半期ごとに東京と大阪で交互に開催致します。

| 訓練内容                          | 訓練内容題目                      | 訓練時間(h) |    | 合計訓練時間 |
|-------------------------------|-----------------------------|---------|----|--------|
|                               |                             | 講義      | 実習 |        |
| 序論                            | NDTの目的、用語、歴史                | 2       |    | 32時間   |
|                               | 超音波探傷試験に関する規格               |         |    |        |
| 超音波の伝搬と音場、<br>きずによる超音波の<br>反射 | 超音波に関する基礎                   | 6       |    |        |
|                               | 波の種類                        |         |    |        |
|                               | 反射、通過と屈折                    |         |    |        |
|                               | 超音波ビームの特性                   |         |    |        |
|                               | きずによる超音波の反射                 |         |    |        |
| 製品知識と探傷技術                     | 超音波探傷方法                     | 3       |    |        |
|                               | 製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず       |         |    |        |
|                               | 対象となる適用品                    |         |    |        |
| 装置                            | 各種探触子とケーブル                  | 4       |    |        |
|                               | 探傷器                         |         |    |        |
|                               | 接触媒質                        |         |    |        |
|                               | 標準試験片及び対比試験片                |         |    |        |
| 探傷準備                          | 仕様書, NDT手順書及びNDT指示書         | 6       |    |        |
|                               | 検査対象と技術パラメータの選択             |         |    |        |
|                               | 測定すべき項目                     |         |    |        |
|                               | 適用される検査規格                   |         |    |        |
| 検査                            | 技術文章の管理                     | 3       |    |        |
|                               | 標準試験片と対比試験片                 |         |    |        |
| 評価及び報告                        | 補足的NDT手法の使用                 | 4       |    |        |
|                               | 適切な標準と規格の解釈                 |         |    |        |
|                               | 評価                          |         |    |        |
|                               | 合否基準                        |         |    |        |
|                               | 有意な差異のレベル                   |         |    |        |
|                               | 保守検査の評価                     |         |    |        |
| データの保存と記録の手順                  |                             |         |    |        |
| 検査の品質                         | 技術者の資格                      | 2       |    |        |
|                               | 機器の検証                       |         |    |        |
|                               | 文書のトレーサビリティ                 |         |    |        |
|                               | 適用可能なNDT方法と製品規格のレビュー        |         |    |        |
|                               | 他のNDT資格及び認証システム             |         |    |        |
| 技術開発及び情報入手                    | 工業的、科学的な超音波の応用に関する<br>最新の開発 | 2       |    |        |
|                               | 情報入手方法                      |         |    |        |
| 計                             |                             | 32      | 0  |        |

注)

当協会のUTレベル3コースのみでは、認証試験で要求されている訓練時間を満たしておりません。本コースを受講した場合の不足時間はレベル3の全NDT共通基礎コース8時間ですので、当協会の「レベル3非破壊試験技術講習会 基礎コース」を受講するか、他機関、もしくは自社訓練にて、シラバスに沿った追加訓練を行って下さい。「レベル3非破壊試験技術講習会 基礎コース」は7月,1月に開催いたします。

LTレベル1コース 会員 90,090円 非会員 100,100円 (消費税込)

| 講習会名     | 地区 | 定員  | 期日 |               | 時間         |
|----------|----|-----|----|---------------|------------|
| 漏れ試験レベル1 | 東京 | 24名 | 講義 | 4月4日(金)～8日(火) | 9:00～17:45 |
|          |    |     | 実習 | 4月8日(火)～9日(水) |            |

| 訓練内容            | 訓練内容題目           | 訓練内容別<br>必要訓練時間    |                  | 合計訓練時間               |        |  |
|-----------------|------------------|--------------------|------------------|----------------------|--------|--|
|                 |                  | 講義                 | 実習               |                      |        |  |
| 漏れ試験の用語と歴史の紹介   | 歴史 非破壊試験 漏れ試験 用語 | B:1.25<br>C:1.25   |                  | 48時間                 |        |  |
| 物理的原理と関連知識      | 物質の物理的挙動         | B:2.00<br>C:2.00   |                  |                      |        |  |
|                 | 圧力               |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 理想気体の法則          |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 真空中における圧力レンジ     |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 真空中の流れ           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 真空中におけるコンダクタンス   |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 脱ガス              |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 排気速度             |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 仮想リークと実リーク       |                    |                  |                      |        |  |
| 製品知識と試験方法及び適用技術 | 圧力変化による方法        | B:3.50             |                  |                      |        |  |
|                 | 試験方法             | C:3.50             |                  |                      |        |  |
| 装置機材            | 試験対象物の情報         | B:1.00<br>C:2.00   | B:4.00<br>C:2.00 |                      |        |  |
|                 | 試験条件と規格適用        |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 試験を実施する際の方法と手順   |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 指示文書             |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 試験条件             |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 赤外線サーモグラフィ装置の操作  |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 様々なきずとその原因       |                    |                  |                      |        |  |
|                 | データ処理            |                    |                  |                      |        |  |
| 試験の事前情報         | 試験対象物の情報         | B:1.00<br>C:1.00   |                  |                      |        |  |
|                 | 試験条件及び適用         |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 作業の指示文書          |                    |                  |                      |        |  |
| 試験              | 発砲試験の実施と技法       | B:5.50<br>C:8.50   | B:4.00<br>C:2.00 |                      |        |  |
|                 | 圧力変化技法           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 圧力減衰技法           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 圧力上昇技法           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | チャンバ圧力変化技法       |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 流量測定技法           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | トレーサガス法の実施と技法    |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 質量分析計            |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 熱伝導ゲージ           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | ガス分析装置           |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 発泡試験と実施と技法       |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 結果の評価と報告         |                    |                  | 受入基準と適用手順に基づく結果分析と評価 | B:0.50 |  |
|                 |                  |                    |                  | 漏れ試験手順の編集            | C:0.50 |  |
| NDTに関わる品質側面     | 技術者の資格           | B:1.25<br>C:1.25   |                  |                      |        |  |
|                 | 文書               |                    |                  |                      |        |  |
|                 | 適用可能なNDTと製品規格    |                    |                  |                      |        |  |
| 講義と実習の時間配分      |                  | B:16.00<br>C:20.00 | B:8.00<br>C:4.00 |                      |        |  |

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。  
申し訳ございませんが、更衣室はありませんのでご了承下さい。

LTレベル2コース 会員 124,145円 非会員 137,940円 (消費税込)

| 講習会名     | 地区 | 定員  | 期日 |                 | 時間         |
|----------|----|-----|----|-----------------|------------|
| 漏れ試験レベル2 | 東京 | 24名 | 講義 | 4月10日(木)~15日(火) | 9:00~17:45 |
|          |    |     | 実習 | 4月16日(水)~18日(金) |            |

| 訓練内容            | 訓練内容題目                       | 訓練内容別<br>必要訓練時間    |                  | 合計訓練時間 |
|-----------------|------------------------------|--------------------|------------------|--------|
|                 |                              | 講義                 | 実習               |        |
| 漏れ試験の用語と歴史の紹介   | 歴史 非破壊試験 漏れ試験 用語             | B:0.50<br>C:1.00   |                  | 72時間   |
| 物理的原理と関連知識      | 物質の物理的挙動                     | B:1.50<br>C:2.50   |                  |        |
|                 | 圧力                           |                    |                  |        |
|                 | 理想気体の法則                      |                    |                  |        |
|                 | 真空中における圧力レンジ                 |                    |                  |        |
|                 | 真空中の流れ                       |                    |                  |        |
|                 | 真空中におけるコンダクタンス               |                    |                  |        |
|                 | 脱ガス                          |                    |                  |        |
|                 | 排気速度                         |                    |                  |        |
|                 | 仮想リークと実リーク                   |                    |                  |        |
| 製品知識と試験方法及び適用技術 | 圧力変化による方法                    | B:4.00             |                  |        |
|                 | 試験方法                         | C:4.50             |                  |        |
| 装置機材            | 機械式ゲージ                       | B:5.00<br>C:5.00   |                  |        |
|                 | ピラニーゲージと熱電対真空計               |                    |                  |        |
|                 | コールドカソード及びイオン真空計             |                    |                  |        |
|                 | 真空ポンプ                        |                    |                  |        |
|                 | ロータリーポンプ及びピストンポンプ            |                    |                  |        |
|                 | ルーツポンプ                       |                    |                  |        |
|                 | 拡散ポンプ                        |                    |                  |        |
|                 | フィッティング                      |                    |                  |        |
| 試験の事前情報         | 試験対象物の情報                     | B:2.00             |                  |        |
|                 | 試験条件及び適用                     | C:1.25             |                  |        |
|                 | 作業の指示文書                      |                    |                  |        |
| 試験              | 発砲試験の実施と技法                   | B:8.00<br>C:12.00  | B:8.00<br>C:8.00 |        |
|                 | 圧力変化技法                       |                    |                  |        |
|                 | 圧力減衰技法                       |                    |                  |        |
|                 | 圧力上昇技法                       |                    |                  |        |
|                 | チャンバ圧力変化技法                   |                    |                  |        |
|                 | 流量測定技法                       |                    |                  |        |
|                 | トレーサガス法の実施と技法                |                    |                  |        |
|                 | 質量分析計                        |                    |                  |        |
|                 | 熱伝導ゲージ                       |                    |                  |        |
|                 | ガス分析装置                       |                    |                  |        |
|                 | 発砲試験と実施と技法                   |                    |                  |        |
| 結果の評価と報告        | 受入基準と適用手順に基づく結果分析と評価         | B:3.00             |                  |        |
|                 | 漏れ試験手順の編集                    | C:3.00             |                  |        |
| アセスメント          | プロジェクトの専門技術者と製造管理者で行う受入基準の評価 | B:1.00             |                  |        |
|                 | 代替手法の妥当性検証                   | C:1.75             |                  |        |
| NDTに関わる品質側面     | 技術者の資格                       | B:0.50<br>C:1.00   |                  |        |
|                 | 文書                           |                    |                  |        |
|                 | 適用可能なNDTと製品規格                |                    |                  |        |
| 開発              | 工業と研究開発のための新規開発              | B:0.50<br>C:1.00   |                  |        |
| 講義と実習の時間配分      |                              | B:24.00<br>C:32.00 | B:8.00<br>C:8.00 |        |

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。  
ただし、更衣室はありませんのでご了承下さい。

**講習会のお問合先：一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター（学術部業務課）**

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 京阪亀戸ビル TEL:03-5609-4013 FAX:03-5609-4061

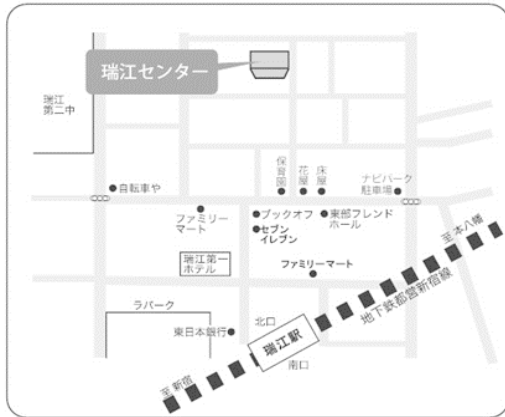
**講習会会場案内**

| 地区 | 会場   |
|----|--|
| 東京 | 一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター<br>〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 京阪亀戸ビル(2024年2月1日よりビル名が変わりました)<br>一般社団法人 日本非破壊検査協会 瑞江センター<br>〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9 |
| 大阪 | 一般財団法人 電子科学研究所 会議室<br>〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町2-3-6 非破壊検査ビル<br>一般社団法人 日本非破壊検査協会 堺筋センター<br>〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル              |

**\*会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時には必ずご確認ください。**

**一般社団法人 日本非破壊検査協会  
瑞江センター**

都営新宿線「瑞江駅」下車、北口より徒歩 約3分



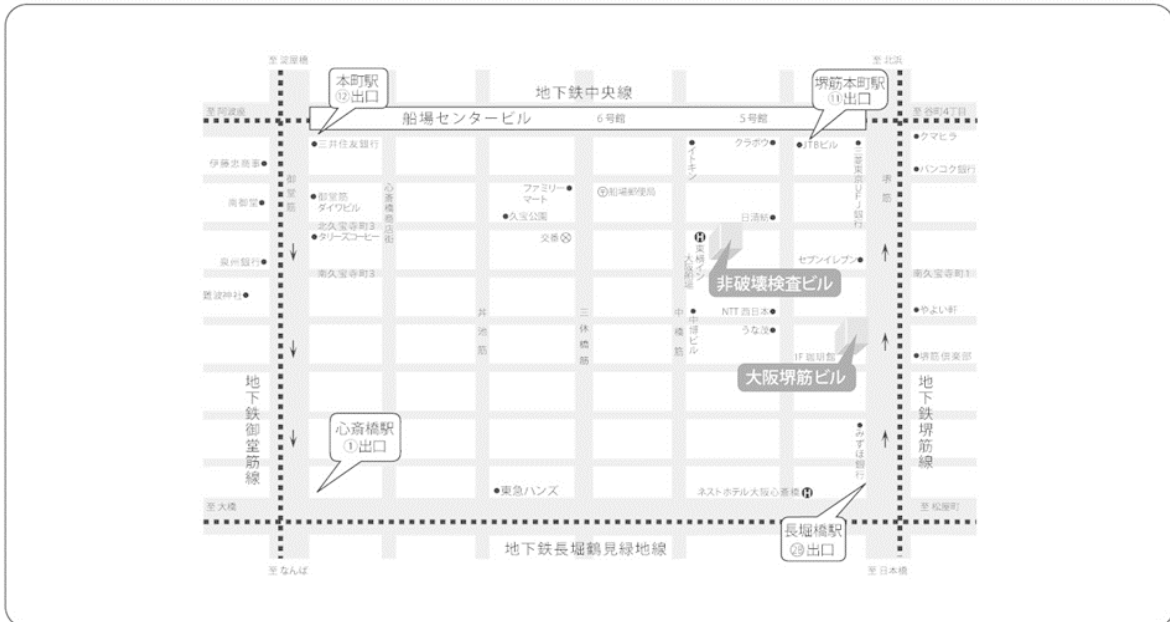
**一般社団法人 日本非破壊検査協会  
亀戸センター 京阪亀戸ビル**

JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、北口より徒歩 約5分



**一般財団法人 電子科学研究所  
非破壊検査ビル**

堺筋線・中央線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分、  
御堂筋線「本町駅」下車、徒歩 約10分



**一般社団法人 日本非破壊検査協会  
堺筋センター 大阪堺筋ビル**

中央線・堺筋線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分